

塚森古墳

歴史巡検資料

場所：相生市那波野 3 丁目 11 国道 2 号線那波野東信号を南に JR 山陽本線を跨ぐ陸橋を越えてすぐ左折、ど根性大根大ちゃんを祀る西法寺への道(狭い)を東へ入り真っすぐ、左側が開けるとすぐに塚森古墳有り。



那波野古墳から南側に見えます。



南側から塚森古墳を臨む。

相生市那波野に、JR からも国道 2 号線からも南側に明らかに古墳であろうと思われる墳丘(高さ約 6m)が見えます。それがこの塚森古墳です。墳丘の直径は約 40m、相生市域最大規模の古墳で、採集された円筒埴輪片等から、5 世紀末頃に築かれたとされる帆立貝形前方後円墳です。



9 月末,膝上越える雑草を踏み越え登ります。 11 月初,綺麗に草刈りされ簡単に登れます。



『相生市史』に掲載された測量図もそうですが、実際の^{あぜ}畦や溝から、^{ぼてい}馬蹄形の^{ほり}濠跡を読み取ることができ、現在残っている南側濠跡の西端を基点にして考えれば、墳長約 60m、前方部長約 16m と推測され、濠・周堤を含めた全長は約 80m と考えられます。



馬蹄形濠跡が、しっかりと今に残っています（左：南側より、右：東側より）

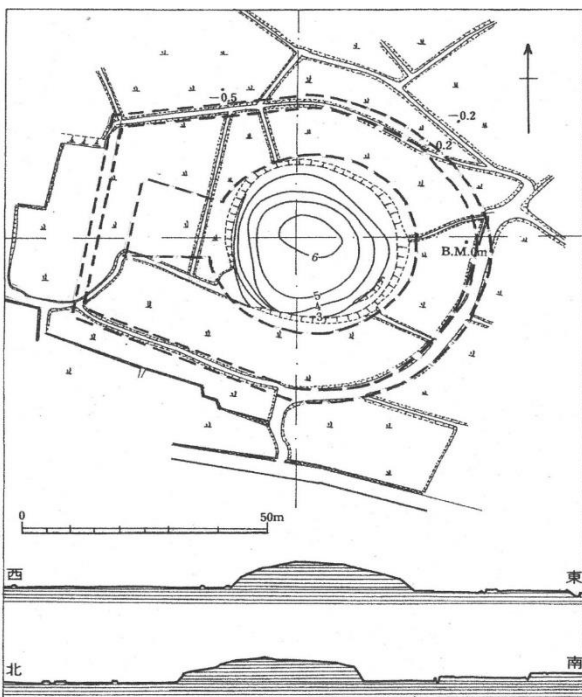
1890(明治 23)年、古墳北側約 80m に山陽鉄道(現 JR 山陽本線)が敷設され、その工事の際に、古墳西側の前方部分を削って土を運んだと伝えられており、古墳の前方部分は失われています。



JR 敷設の際、削られた前方部分か？



西側の前方部分は削られてありません。
(この辺りが前方部か？黄色破線部)



塚森古墳墳丘実測図

* 西谷真治 1989「塚森古墳」『相生市史』第 5 卷 (相生市・相生市教育委員会) をもとに復元試案を破線で示す(下段は断面図)

参照：・「相生市史 第 5 卷」編集
相生市史編纂専門委員会

・「れきみん資料館だより No.Ⅲ-4
<資料紹介 3> 塚森古墳」

相生市立歴史民俗資料館